

## 公益活動報告書（市民活動実績報告書）（令和7年度）

（宛先）岡崎市長

令和8年3月31日

団体名 岡崎市聴覚障害者福祉協会

代表者 会長 守本 健児

構成員 80人（※令和8年4月1日時点の構成員数）

団体の目的：団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

聴覚障害者の親睦を深め、文化的な生活と権利を守って、福祉向上を推進することを目的とする。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。  
 なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

## ■ 1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。（公益活動に限る）

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは？	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
毎月第三 土曜日	友愛の家	一般市民	15人	井戸端会
1月17日	福祉会館6F 大ホール	一般市民	100人	手話言語理解促進講演会 「森田明が語る日本手話の世界」 講師：森田 明氏
3月8日	総合学習セ ンター	一般市民	20人	福祉講演会 「NHK ドラマ『デフヴォイス～法 廷の手話通訳士』及び映画『みんな おしゃべり！』に出演して」 講師：那須 英彰氏

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。&lt;ex.自然環境&gt;

## ■ 2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市（広く市民社会一般）に何をもたらしましたか。

主に手話言語で生活を送っているろう者の実態を広く市民に知ってもらうことで、きこえる・きこえないに関わらず相互理解が深まり、共生社会の推進に寄与した。

## ■ 3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください（数字に○をつけてください）

高い ← 5 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

主に手話言語で生活を送るろう者の実態を市民に広く知ってもらう事が出来たため